

特定非営利活動法人 碧いびわ湖

年間活動レポート

2022年版



子どもと湖が笑ってる未来へ

碧いびわ湖

力を合わせる 子どもと湖が笑ってる未来へ

「子どもと湖が笑ってる未来へ」を掲げ、
碧いびわ湖が旧環境生協の事業を継承してから13年。
子どもたちがのびのびと育つことのできる
ほんとうに豊かな暮らしが、滋賀の各地で紡がれています。

一方、社会全体では分断と孤立が深まりつつあります。
日本では、学校に通えなくなる子も、自ら命を断つ子も増えています。
世界でも、紛争、経済格差、環境汚染、気候危機などで、
多くの子どもが心身に傷を負い、命を落としたりしています。

あらためて今、
身近な自然、身近な人々、そして自分自身としっかりつながりあい、
根っこのある「安心」を育てていくことが大切だと思います。

今年度も、一人ひとりができることを見つけ合い、力を寄せ合い、
自由で、持続可能で、平和な暮らしをつくっていきましょうと思います。
碧いびわ湖の活動へのご参加、ご協力のほど、
よろしくお願いいたします。





2022年5月

代表理事 村上 悟



一人ひとりの想いと力を寄せ合って

碧いびわ湖は、自治と協同によって運営される市民事業体です。一人ひとりの想いと力を寄せ合い、望む暮らしを共に描き、行動し、運動や事業を生み出します。

地域づくり	共同購入・リサイクル	住まいづくり
<p>ホテルが自生する川づくりや環境学習事業（守山市）、マザーレイクゴールズ（MLGs）の推進（滋賀県）など、人々が助け合い、誰もが未来に安心と希望を抱ける暮らし・社会をつくる「地域づくり事業」を行っています。</p> 	<p>びわ湖とその流域の水と土を守る農産物や間伐材を使った紙製品、リサイクル製品をみんなで購入する「共同購入事業」と、製品の原料となる牛乳パックや廃食用油を多様な人々の協力で集める「リサイクル事業」を行っています。</p> 	<p>共に学び、力を合わせ、森の木、雨水、太陽熱など身近な自然を生かす住まいをつくる「住まいづくり事業」を行っています。子育てと暮らしを共にするコミュニティ住宅づくりにも取り組んでいます。</p> 
市民自治・政策提言		
<p>会員交流会の開催や、市民メディア「あまいろだより」の発行など、一人ひとりの想いと力を持ち寄り、目指す暮らしに向けて力を合わせる「市民自治」をしています。琵琶湖の環境政策や子どもたちの育ちなどについて、市民が学び合い、議論し、行政や企業などにはたらきかける「調査研究・政策提言事業」もを行っています。</p>		

はじめりは、琵琶湖のせっけん運動でした

1977年5月、琵琶湖の湖面が赤錆色に染まり、異臭が漂いました。プランクトンが異常繁殖する「赤潮」という現象で、洗濯に使われていた有リン合成洗剤がその原因でした。生協、婦人会、労働組合などが協力してせっけんの使用が進められ、1980年には県内で有リン合成洗剤の販売を禁じる富栄養化防止条例（びわ湖条例）が制定されました。



せっけん運動の一翼を担った「湖南消費生活協同組合」の中から、1989年に「滋賀県環境生活協同組合」が設立され、環境に重点を置いた市民事業と地域づくりを行いました。2009年、この生協の事業を継承して生まれたのがNPO 碧いびわ湖です。子育て世代を中心に、40年以上にわたる運動と事業を継続しています。

【地域づくり】 MLGs 推進事業がスタート

2010年から参画してきたマザーレイクフォーラムの活動を継承発展した、滋賀県の「マザーレイクゴールズ（MLGs）推進事業」を受託しました。多様な主体の参画と連携づくり、新たな参加者の開拓に取り組みました。



守山市立図書館の横の目田川にて「環境活動 × 探求学習」



ヴォーリスの森にて「自然の中でのまなびcafé」



「お試し漁師体験」でヒウオ漁を体験

●MLGs コラボワークショップを開催

さまざまな団体・組織が連携・協力する、コラボワークショップを開催しました。

- ・ MLGs アクションゲーム in 五箇荘小学校
- ・ MLGs アクションゲーム in 守山北高校
- ・ 「西の湖環境スタディーツアー×自然の中でのまなび cafe」@ヴォーリズの森
- ・ オンライントークサロン《水源の森 編》～知りたい！語りた！森とつながる暮らしの魅力って？
- ・ 環境活動 × 探求学習 in 目田川 ～守山市図書館横やすらぎ広場 あつまれ！みんなの川づくり～

ほか

●お試し漁師体験&若手トーク

志賀町漁協の若手漁師、駒井健也さんとそのお仲間の協力のもと、「ヒウオ漁」体験と調理体験を開催しました。実際に湖上に浮かび、網を曳き、体で感じて初めてわかることがたくさんありました。

また、その日の動画を鑑賞し、若手の漁師や学生さんのお話を聞くオンライン交流会も開催しました。漁業の面白さ、同じ琵琶湖でも地域によって魚種や漁法も異なることなど、とても興味深い会でした。

●持続可能な住まいのオンライントーク

建築士の岩波正さん、愛のまちエコ倶楽部の財満遼さんなどの参画により、2回シリーズで「持続可能な住まい」に関するオンライントークを開催しました。

「持続可能性」にも、木で長寿命な家を建てること、断熱性能を高めることなど、さまざまな視点がありました。また、施主と工務店・設計士の間での相互理解と信頼関係の醸成が、持続可能な住まいづくりにおいても重要であることが浮かび上がりました。



MLGs アクションゲーム



西の湖環境スタディーツアー



オンライントークサロン《水源の森 編》



持続可能な住まいのオンライントーク



詳しくは「MLGs WEB」の記事でお読みいただけます
なお MLGs に賛同するとメルマガで情報が届きます



【地域づくり】 子どもの学びの環境づくり

“幼児期から自然のなかで、友だちといっしょに夢中になって遊ぶ”

この経験がたくましく生きぬくために圧倒的にたいせつです!!

身近な自然環境において遊び・学びの環境づくりをすすめています。



畑がつなくコミュニティ・ネットワーキング



幼児からの川遊び



中高生によるまちの話題発信

●親子でほたるを飛ばす！環境学習クラブ

(株)みらいもりやま 21 (守山のまちづくり会社) とともに運営している環境学習クラブ「ルシオール・キッズ・クラブ」では、ほたるが自生できる川づくりを継続しています。

●野洲川で遊ぶの大好き！クラブチーム

野洲川をフィールドした環境学習クラブ「なかす野洲川たんけん隊」の活動や、幼児の川遊びをサポートしています。

●守山市環境学習事業

守山市環境学習都市宣言 (2017) にもとづき、守山市環境学習事業推進委員会に参画し、地域の方々とともに計画づくりを進めてきました。2021 年 4 月に、もりやまエコパークがオープンし、環境学習事業がスタートしました。

碧いびわ湖では、子連れ親子を対象とした「畑がつながくコミュニティ・ネットワーク」と、「中高生によるまちの話題発信」の 2 つのプログラムの運営にあたりました。

JA レーク滋賀営農経済戦略部のご協力をいただき、プランターで野菜づくりを行っています。

また、中高生たちと「すとりーている」、「ビワコパールズサプライズ」、「淡海を守る釣り人の会」、「ほたるの森資料館」、「河西いちご園」を取材し動画制作しました。

<おもな活動>

- 親子でほたるを飛ばす！「ルシオールキッズクラブ」(川に学ぶプロジェクト)
- 野洲川が大好きなクラブチーム「なかす野洲川たんけん隊」
- 中洲こども園、小津こども園、中洲小学校、三上小学校、野洲小学校での学習活動 (川遊び含む)
- 守山市環境学習事業「畑がつながくコミュニティ・ネットワーク」「中高生によるまちの話題発信」

ほか



守山のまちなかにある「あまが池親水緑地」での小さな自然再生の活動の様子



守山市長にほたるを飛ばすための方策を手紙にしてお渡ししました (昨年 10 月)



野洲川では、カヌー (E ボート) をつけた活動もはじまりました！



もりやまエコパークのおいしい庭にて

【地域づくり】 子ども・若者の声と力を活かす

自分の想いや意見を大人たちがしっかり受け止め、共に考え行動してくれる経験が、子どもと若者の、社会への信頼と希望を育みます。子どもと若者の想いと力を活かす活動に取り組みました。



子ども県議会が滋賀県議会議場にて開催されました



子ども議員たちが真剣に話し合う様子



滋賀県のCO₂ネットゼロに関するシンポジウムに若者たちが登壇して意見を述べました

●子ども県議会

3年目となる滋賀県子ども県議会開催事業を受託して運営しました。子ども議員からの等身大の真剣な意見提案がなされました。(右のQRコードからウェブサイトへ)



滋賀県子ども県議会のサイトで、子ども議員からの提案等がご覧いただけます。

●CO2 ネットゼロを考える次世代WS

玉崎ふきさんら Friday For Future Shiga の若者たちと共に、滋賀県のCO₂ネットゼロを考える次世代ワークショップを受託し実施しました。気候変動問題と市民活動に長く関わられている南村多津恵さんにスタッフに加わっていただいで伴走し、若者たち自身が5回のワークショップを企画実施したり、滋賀県のシンポジウムで発表をしたり、若者向けの気候変動問題に関するデジタルブックレットを作成したりしました。



(右のQRコードからご覧いただけます)

共に事業をすすめる中で、若者たちの危機感と想い、そして可能性を共有しました。

●学びのマナビバ

昨年9月から10月にかけて、子どもの育ちと学びについて学び合い語り合う「学びのマナビバ」を4回にわたって開催しました。

フリースクール、森のようちえん、自然体験の実践者と保護者、学校の地域連携に関わっている方、海外での通学経験者など、多様な人々が集い、現状や経験、課題と可能性を共有しました。

子どもたちの不登校が増加していること背景にある社会と学校の状況と、これから必要な取り組むべきことについて、理解を共有しました。



CO₂ ネットゼロを考える次世代ワークショップをオンラインで開催



ワークショップに参加した若者たちが作成したパンフレットの表紙



「学びのマナビバ」をオンラインで4回開催

【共同購入・リサイクル】 つながりの環を次世代へ

使用済み揚げ油を回収してリサイクルせっけんとして供給する、牛乳パックを回収してリサイクルティッシュ・ロールとして供給する、といった「循環」「つながり」を実感できるリサイクル事業と共同購入事業を続けています。2021年度は、その活動を次世代へとつないでいく活動を行いました。



おかえりティッシュとただいまロールのパッケージをリニューアル



安土小学校での牛乳パックリサイクルの学習の様子



液体せっけん「ゆう」の量り売りをスタート
(くさつ Farmer's Market にて)

●おかえり&ただいま をリニューアル

関西ミルクロードの会の統一ブランド「おかえりティッシュ」と「ただいまロール」のパッケージをリニューアルしました。これまでの温かみを引き継ぎつつ、より洗練されたデザインに。ティッシュはプラスチックフィルムを外し、ロールは10m長くなりました。

●平和堂イベントでの紙漉き体験

株式会社平和堂のオリジナルロールの販売益からいただいた寄付金を活用し、平和堂のビバシティ彦根で紙漉き体験を実施しました。これまで培ったノウハウを活かしつつ、若い世代の方々にも参加いただき、にぎやかな体験ができました。

●牛乳パックリサイクルを学ぶ(安土小)

近江八幡市立安土小学校の3年生と学習を行いました。安土では、フレンドマート安土店(店頭回収)やきぬがさ作業所(回収作業や紙すき)、成和商事(古紙回収)、碧いびわ湖などが連携して、住民によるリサイクル活動がつづけられていることを体験を通して学んでもらいました。

●液体せっけん「ゆう」の量り売り開始

精製した使用済み揚げ油から手づくりしているキッチン液体せっけん「ゆう」の量り売りを開始しました。くさつファーマーズマーケットでの販売に加えて、甲賀市のBIWAKO ZERO WASTEさんのエシカルshopでも開始。せっけんの使い方講座も実施しました。

<数字で見る 共同購入・リサイクル事業の成果>

●お米供給量	5,127 kg	省農業みかん供給量	4,900 kg
●粉せっけん「びわ湖」供給量	2,244 kg	●廃食用供給量	36,400 L
●液体せっけん「ゆう」供給量	872 L	●牛乳パック供給量	378,310 kg
●トイレロール「ただいまロール」等供給量	11,046 袋		
●ティッシュ「おかえりティッシュ」供給量	5,788 袋		



平和堂ビバシティ彦根での紙漉きイベント



BIWAKO ZERO WASTE さんのエシカルshopで量り売りを始めてくださいました



ゆうの製造責任者の五百井裕子さんによるせっけんの使い方講座も実施

お気軽にご参加ください

→ イベントに参加してみる

碧いびわ湖では、様々な体験や学び、出会いのあるイベントを企画実施しています。Facebook や Instagram などでご告知や実施報告を掲載しています。まずは「いいね!」「フォロー」してください。

- Facebook→「碧いびわ湖」検索して” いいね!”
- Instagram→「碧いびわ湖」検索して” フォロー”



→ 入会する、寄付をする、活動をする

自分が活動を担うことで、より深い経験やつながりを得ることができます。活動に協力したい、参加したい方は、ご入会ください。会員は毎年5月に開催される会員総会にもご参加いただけます。

- ・運営会員 1000 円/口・年 (複数口可) 議決権あり
 - ・賛助会員 3000 円/口・年 (複数口可) 議決権なし
- 寄付も随時お受けしています。
- 入会・寄付・ボランティア→お問い合わせください



→ 事業の利用で参加してみる

共同購入や住まいづくりなどの事業をご利用いただくことで、ご自身の日々の暮らしを具体的に変わっていくことができます。会員でない方もご利用いただけます。リサイクル活動への参加も可能です。

- 共同購入→「碧いびわ湖 共同購入」[検索](#)
- 住まいづくり→「碧いびわ湖 住まいづくり」[検索](#)
- リサイクル→お問い合わせください



▲碧いびわ湖の共同購入サイト

特定非営利活動法人 碧いびわ湖

電話 0748-46-4551 FAX 0748-46-4550
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3
メール info@aoibiwako.org
HP <http://aoibiwako.shiga-saku.net/>

子どもと湖が笑ってる未来へ

碧いびわ湖